

南あわじ市 決算の概要

【平成20年度決算報告】

平成21年9月

目 次

1 . 平成 2 0 年度 決算の概要 (一般会計・特別会計)

(平成 2 0 年 4 月 1 日 ~ 平成 2 1 年 3 月 3 1 日)

- (1) 決算の概要 P . 1
- (2) 一般会計 歳入の状況 P . 2
- (3) 一般会計 歳出の状況 P . 6
- 南あわじ市の家計簿 P . 9
- (4) 市債現在高の状況 P . 1 0
- (5) 基金残高の状況 P . 1 1

2 . 平成 2 0 年度 決算の概要 (企業会計)

- (1) 水道事業会計 P . 1 2
- (2) 農業共済事業会計 P . 1 4
- (3) 国民宿舎事業会計 P . 1 6

1.平成20年度 決算の概要(一般会計・特別会計)

(1) 決算の概要

平成20年度における一般会計及び17の特別会計(地方公営企業法適用会計を除く)の決算は、歳入総額が423億4,950万3千円、歳出総額が410億1,496万5千円となり、歳入歳出の差し引き額は13億3,453万8千円となりました。このうち翌年度へ繰り越した事業に充てられる財源2億8,945万7千円を差し引いた実質収支額は10億4,508万1千円の黒字となりました。ただし、歳入の中には前年度からの繰越金や財政調整基金の取り崩しによる補てん分などを含んでいるため、それらを除いた実質単年度収支は5億7,111万8千円となっています。

平成19年3月に10年間を構想期間として策定された「南あわじ市総合計画」、2年目となる平成20年度は、しっかりと行財政改革をすすめつつ、南あわじ市の潜在能力をより一層引き出すため、市民全員が一丸となって「夢・知恵・元気」を出し合い、南あわじ市のすばらしい人材・産業・特産品・景観・歴史文化などから「ふるさと新発見」として新しい可能性を見いだす年と位置付けました。「地域の可能性を見いだす」「少子対策の成果を見いだす」「地域防災力の可能性を見いだす」「行財政改革の成果を見いだす」という4つを市政理念に、非常に厳しい財政状況の中、事業の緊急性と優先順位を精査検討し、「選択と集中」を旨に財源の効率的かつ効果的な配分に努め、市の将来への布石となる的確な事業展開を図りました。

具体的には、資源循環型のまちづくりとして、市内4ヶ所の施設を統合した「中央リサイクルセンター」を建設しました。これに伴い、一般廃棄物の分別収集品目の統一や圧縮梱包した「容器包装プラスチック」「ペットボトル」を再生業者へ引き渡すなど、資源ごみのリサイクル率向上を推進しました。

子育て支援として、学童保育を1ヶ所拡充(市地区)、市内7ヶ所で開設し、児童の健全な育成を図るとともに保護者の仕事と子育ての両立を支援しました。また、18歳未満の子どもが3人以上いる家庭に、市内の協賛店に提示すると特典を受けられる「ゆめるんカード」を発行するなど、子育て世帯を応援しました。

防災対策として、倭文・北阿万・灘の各小学校体育館及び沼島中学校体育館の地震補強工事を行い、小中学校耐震化100%を達成しました。

その他、ほ場整備の推進や道路の新設改良、下水道管の布設など、市民生活に密着した事業を進めました。

会計別歳入歳出決算総括表

(単位:千円、%)

区分 会計名	歳入		歳出		歳入歳出差引額 (c) (a) - (b)	翌年度へ繰り 越すべき財源 (d)	実質収支額 (e) (c) - (d)		
	決算額 (a)	対前年度 増減率	決算額 (b)	対前年度 増減率					
一般会計	25,733,816	2.6	24,985,499	3.8	748,317	229,327	518,990		
特別会計	国民健康 保険	保険事業勘定	6,338,546	4.0	6,385,229	3.0	46,683	46,683	
		直営診療所勘定	114,539	2.1	114,288	7.2	251	251	
	老人保健	651,187	89.9	651,187	89.8	0	0		
	後期高齢者医療	992,775	皆増	983,958	皆増	8,817	8,817		
	介護保険	保険事業勘定	3,665,983	5.5	3,608,058	4.3	57,925	57,925	
		介護サービス事業勘定	616,984	2.9	616,984	2.9	0	0	
	訪問看護事業	60,606	3.4	60,606	3.4	0	0		
	公共下水道事業	2,418,533	26.6	2,098,612	35.2	319,921	54,830	265,091	
	農業集落排水事業	379,175	5.3	355,314	1.2	23,861	3,200	20,661	
	漁業集落排水事業	358,033	15.9	210,032	50.2	148,001	2,100	145,901	
	サイクリングターミナル事業	67,590	9.5	67,590	9.3	0	0	0	
	慶野松原海水浴場	10,376	3.4	9,252	0.8	1,124	0	1,124	
	土地開発 事業	企業団地開発事業勘定	257,654	69.7	216,984	73.6	40,670	0	40,670
		住宅団地開発事業勘定	41,973	114.1	41,369	115.8	604	0	604
	産業廃棄物最終処分事業	194,845	1.6	190,628	3.9	4,217	0	4,217	
	ケーブルテレビ事業	419,316	59.1	399,791	58.1	19,525	0	19,525	
	広田財産区管理会	328	69.1	96	4.3	232	0	232	
福良財産区管理会	24,225	37.6	18,343	22.9	5,882	0	5,882		
北阿万財産区管理会	2,127	9.0	790	7.8	1,337	0	1,337		
沼島財産区管理会	892	34.1	355	24.5	537	0	537		
計	16,615,687	27.2	16,029,466	29.1	586,221	60,130	526,091		
合計 (+)	42,349,503	14.0	41,014,965	15.6	1,334,538	289,457	1,045,081		

(2) 一般会計 歳入の状況

一般会計の歳入総額は257億3,381万6千円で、前年度と比べ6億9,598万7千円(2.6%)の減となりました。歳入の主な内容を見てください。

市税...今年度は市内で大規模な新規設備投資があったこと等により、固定資産税が1億1,139万9千円(3.3%)の増収、軽自動車税についても、経済性に優れていることなどの理由により軽自動車の所有台数が増えているため196万9千円(1.2%)の増収となりました。

一方、景気悪化等の影響により課税所得が低下、個人市民税で1,313万7千円(0.7%)、法人市民税で3,822万6千円(9.3%)のそれぞれ減収となりました。また、市たばこ税では、世界的な禁煙対策推進による喫煙者の減少等によりたばこの消費本数が年々減少傾向にあることから2,324万4千円(6.6%)の減収、入湯税についても、燃料費の高騰や景気悪化等による観光客の減少により231万2千円(5.3%)の減収となりました。

この結果、市税全体では、前年度と比べ3,644万9千円(0.6%)の増収となりましたが、平成9年度のピーク時と比べると約4.9億円少なく、非常に厳しい財源環境にあることは変わりません。

地方交付税...普通交付税については、需用額の算定に係るほとんどの費目で単位費用が引き下げられている中、公債費に係る交付税算入額の増加や高齢者保健福祉に係る経費の増加、がんばる地方応援プログラム分の増加、更には地方再生対策費の創設などにより需要額が大幅な増となったこと等により5億8,138万8千円(8.5%)の増収となりました。

一方、特別交付税については、合併後3年間措置されてきた合併市町村への特別交付税措置が終了したこと等により、2,864万2千円(2.9%)の減収となりました。この結果、地方交付税全体では、5億5,274万6千円(7.0%)の増収となりました。

国庫支出金...地域の活性化や生活対策を目的として、地域活性化・緊急安心実現総合対策交付金、地域活性化・生活対策臨時交付金、定額給付金事業費補助金及び子育て応援特別手当事業補助金が交付されたこと等により、10億9,921万5千円(88.2%)の増収となりました。

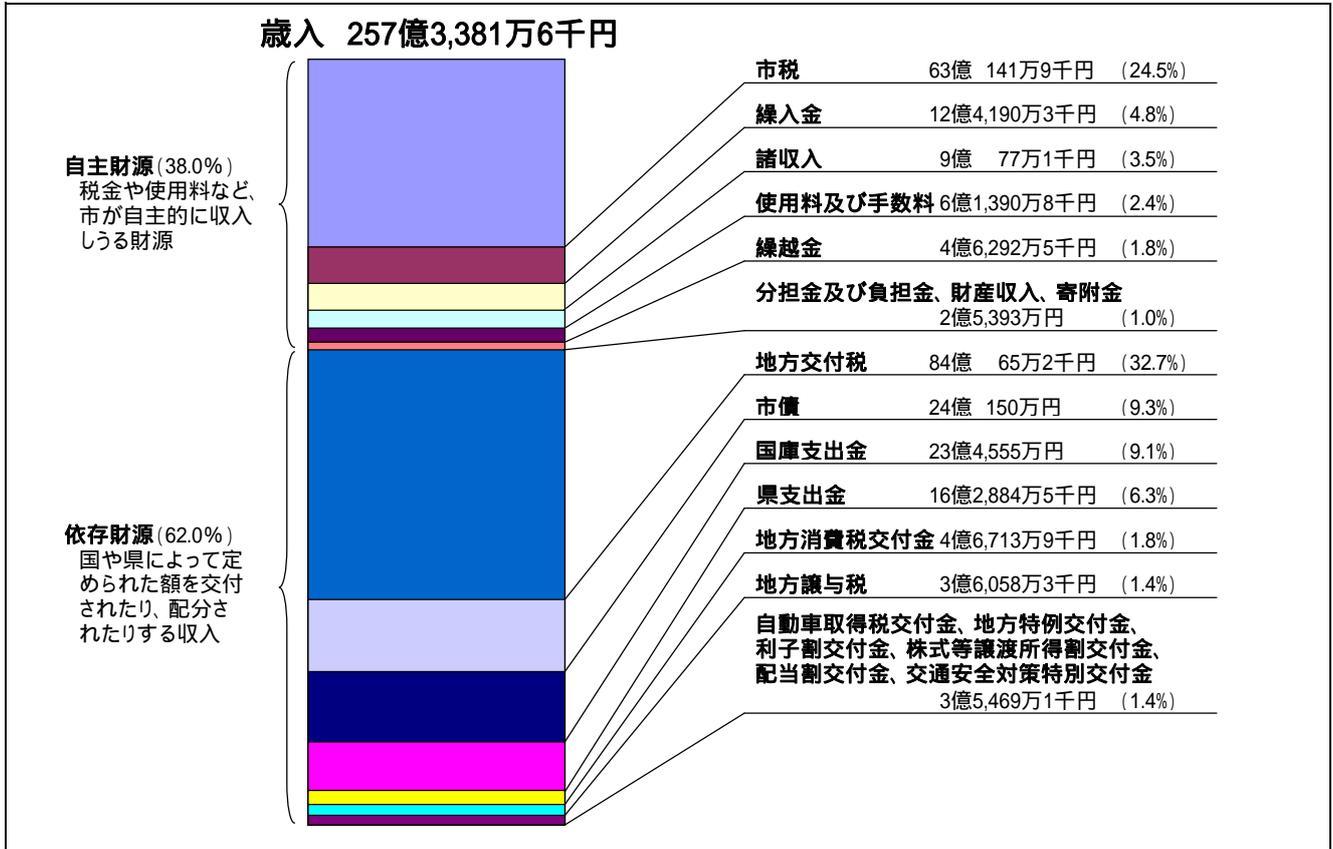
市債...大型事業であるケーブルテレビ事業が完了したことにより建設事業に伴う借入が減少したため、19億5,630万円(44.9%)の減収となりました。

一般会計 歳入の状況及び前年度比較

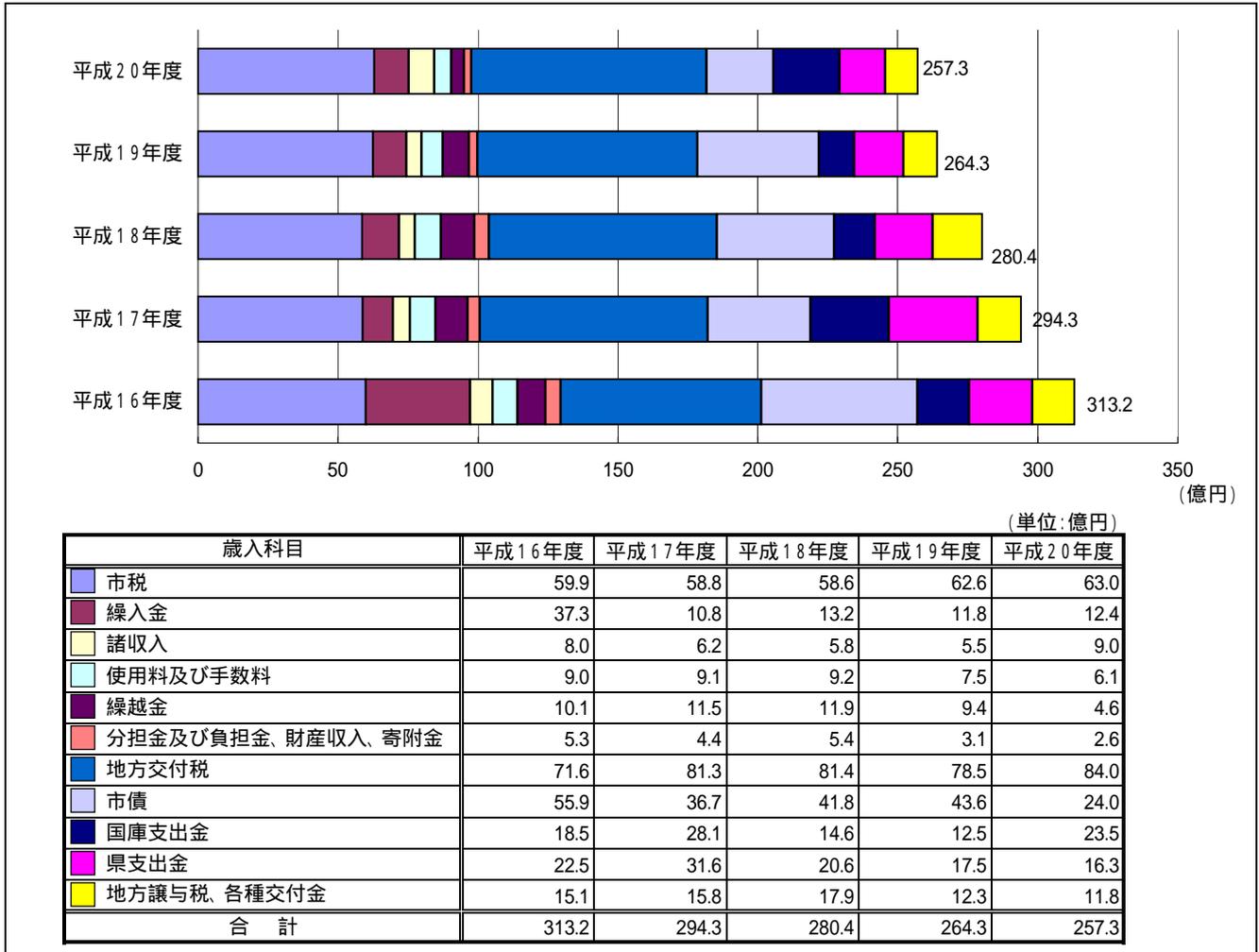
(単位:千円、%)

歳入科目	平成20年度				平成19年度		前年度対比	
	最終予算額	決算額	構成比	予算に対する収入割合	決算額	構成比	増減額	増減率
1. 市税	6,250,640	6,301,419	24.5	100.8	6,264,970	23.7	36,449	0.6
2. 地方譲与税	356,000	360,583	1.4	101.3	372,230	1.4	11,647	3.1
3. 利子割交付金	30,000	27,066	0.1	90.2	28,737	0.1	1,671	5.8
4. 配当割交付金	25,000	14,376	0.1	57.5	34,613	0.1	20,237	58.5
5. 株式等譲渡所得割交付金	23,000	4,845	0.0	21.1	23,080	0.1	18,235	79.0
6. 地方消費税交付金	494,000	467,139	1.8	94.6	507,681	1.9	40,542	8.0
7. 自動車取得税交付金	196,000	230,662	0.9	117.7	213,761	0.8	16,901	7.9
8. 地方特例交付金	67,194	67,194	0.3	100.0	36,637	0.1	30,557	83.4
9. 地方交付税	8,243,300	8,400,652	32.7	101.9	7,847,906	29.7	552,746	7.0
うち普通交付税	7,425,900	7,425,900	28.9	100.0	6,844,512	25.9	581,388	8.5
うち特別交付税	817,400	974,752	3.8	119.3	1,003,394	3.8	28,642	2.9
10. 交通安全対策特別交付金	11,000	10,548	0.0	95.9	11,844	0.1	1,296	10.9
11. 分担金及び負担金	132,094	130,648	0.5	98.9	135,905	0.5	5,257	3.9
12. 使用料及び手数料	612,416	613,908	2.4	100.2	754,325	2.9	140,417	18.6
13. 国庫支出金	2,907,227	2,345,550	9.1	80.7	1,246,335	4.7	1,099,215	88.2
14. 県支出金	1,644,738	1,628,845	6.3	99.0	1,753,268	6.6	124,423	7.1
15. 財産収入	54,650	77,347	0.3	141.5	146,711	0.6	69,364	47.3
16. 寄附金	47,015	45,935	0.2	97.7	29,137	0.1	16,798	57.7
17. 繰入金	1,217,154	1,241,903	4.8	102.0	1,174,328	4.4	67,575	5.8
うち特別会計繰入金	369,254	406,903	1.6	110.2	102,428	0.4	304,475	297.3
うち基金繰入金	847,900	835,000	3.2	98.5	1,071,900	4.0	236,900	22.1
18. 繰越金	462,925	462,925	1.8	100.0	942,689	3.6	479,764	50.9
19. 諸収入	1,081,858	900,771	3.5	83.3	547,846	2.1	352,925	64.4
20. 市債	2,530,400	2,401,500	9.3	94.9	4,357,800	16.5	1,956,300	44.9
うち臨時財政対策債	628,900	628,900	2.4	100.0	671,500	2.5	42,600	6.3
合計	26,386,611	25,733,816	100.0	97.5	26,429,803	100.0	695,987	2.6

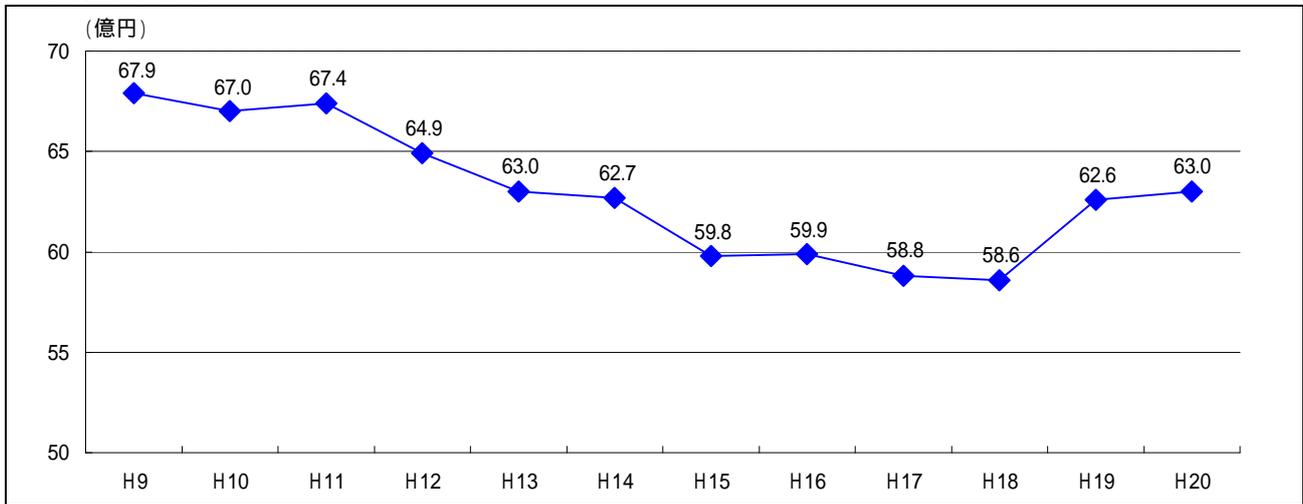
一般会計 歳入額の構成



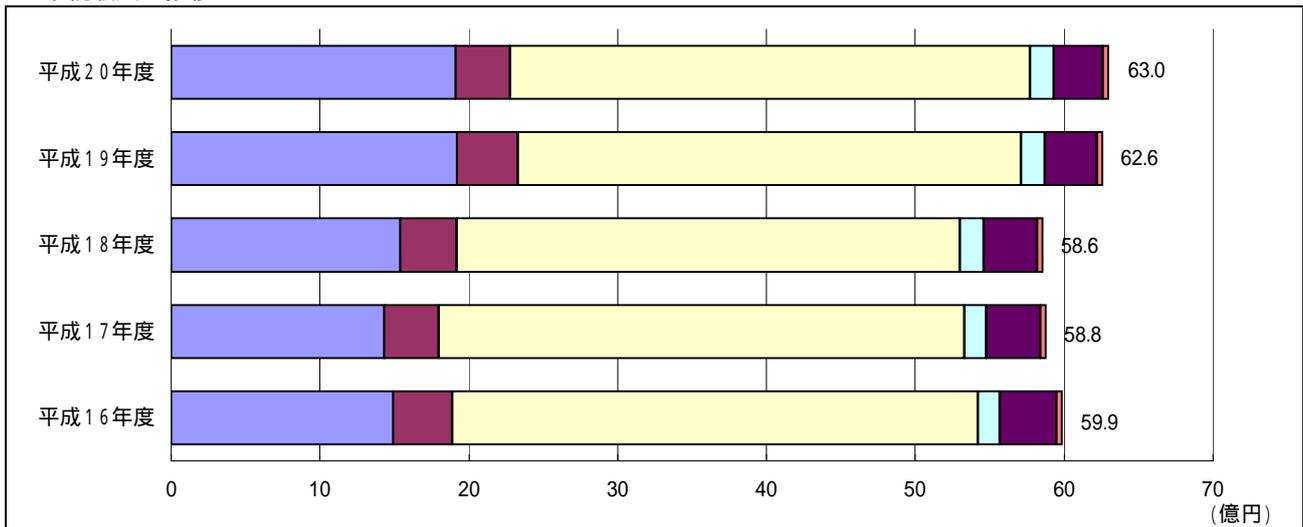
一般会計 歳入額の推移



市税収入の推移



市税収入の推移



(単位:億円)

税目	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
市民税	18.9	18.0	19.2	23.3	22.8
個人市民税	14.9	14.3	15.4	19.2	19.1
法人市民税	4.0	3.7	3.8	4.1	3.7
固定資産税	35.3	35.3	33.8	33.8	34.9
軽自動車税	1.5	1.5	1.6	1.6	1.6
市たばこ税	3.8	3.6	3.6	3.5	3.3
入湯税	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4
合計	59.9	58.8	58.6	62.6	63.0

税目別前年度比較

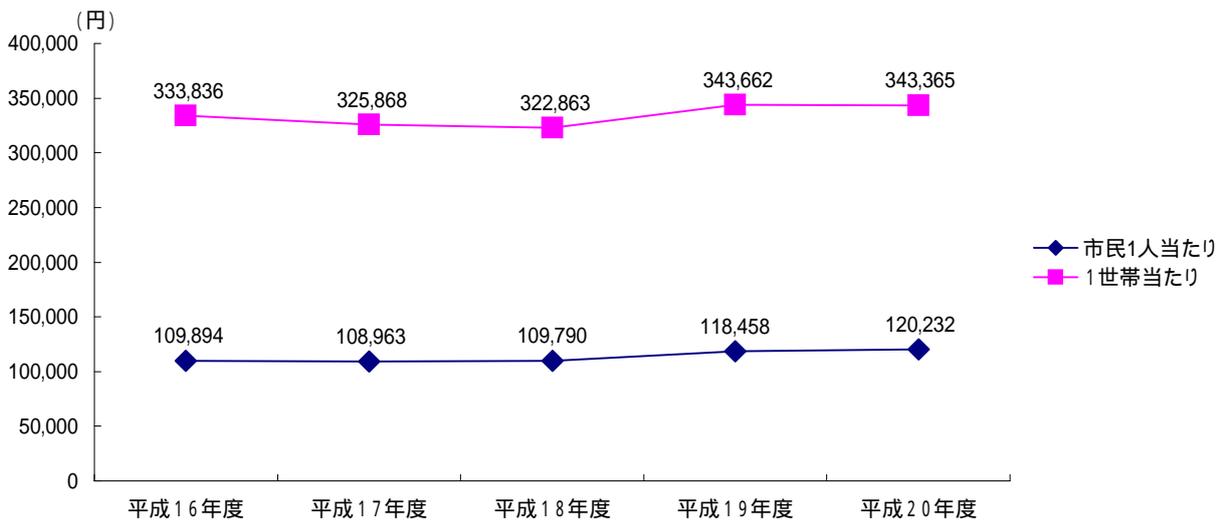
税目	平成20年度		平成19年度		前年度対比	
	収入額	構成比	収入額	構成比	増減額	増減率
市民税	2,275,716	36.1	2,327,079	37.2	51,363	2.2
個人	1,904,898	30.2	1,918,035	30.6	13,137	0.7
法人	370,818	5.9	409,044	6.6	38,226	9.3
固定資産税	3,494,476	55.5	3,383,077	54.0	111,399	3.3
軽自動車税	160,609	2.5	158,640	2.5	1,969	1.2
市たばこ税	329,364	5.2	352,608	5.6	23,244	6.6
入湯税	41,254	0.7	43,566	0.7	2,312	5.3
合計	6,301,419	100.0	6,264,970	100.0	36,449	0.6

税目別前年度比較(市民1人当たり、1世帯当たり)

税目	平成20年度			平成19年度			前年度対比		
	総額 (千円)	1人当たり (円)	1世帯当たり (円)	総額 (千円)	1人当たり (円)	1世帯当たり (円)	総額 (千円)	1人当たり (円)	1世帯当たり (円)
市民税	2,275,716	43,421	124,004	2,327,079	44,000	127,651	51,363	579	3,647
固定資産税	3,494,476	66,676	190,414	3,383,077	63,967	185,577	111,399	2,709	4,837
軽自動車税	160,609	3,064	8,752	158,640	3,000	8,702	1,969	64	50
市たばこ税	329,364	6,284	17,947	352,608	6,667	19,342	23,244	383	1,395
入湯税	41,254	787	2,248	43,566	824	2,390	2,312	37	142
合計	6,301,419	120,232	343,365	6,264,970	118,458	343,662	36,449	1,774	297
人口	52,410			52,888			478		
世帯数	18,352			18,230			122		

人口及び世帯数は、各年度末(3月31日)住民基本台帳の数値を使用しています。

市税負担の推移(市民1人当たり、1世帯当たり)



(単位:円、人、世帯)

区分	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
市民1人当たり	109,894	108,963	109,790	118,458	120,232
1世帯当たり	333,836	325,868	322,863	343,662	343,365
人口	54,510	53,960	53,374	52,888	52,410
世帯数	17,944	18,043	18,150	18,230	18,352

(3) 一般会計 歳出の状況

一般会計の歳出総額は249億8,549万9千円で、前年度と比べ9億8,137万9千円(3.8%)の減となりました。歳出の主な内容を見てください。

総務費...定額給付金事業の実施にあたり、南あわじ市では、市民の方が少しでも早く受け取れ、申請や受給に係る手続きをできるだけ簡素にするため、現金給付を選択し、市内28ヶ所に設置した特設会場において給付を行いました。また、平成21年2月1日には、市長選挙が執行されました。

昨年度末に市内全域でケーブルテレビ整備事業が完了したこともあり、10億8,323万9千円(24.3%)の減となりました。

民生費...少子対策として、子育て支援や結婚促進、定住化促進に積極的に取り組みました。また、高齢者や障害者の方が安心・安全に暮らせるよう、各種福祉サービスに係る給付支援を行いました。その結果、民生費では140万8千円(0.0%)の増となりました。

衛生費...市民一人ひとりが健康意識を高め、健康づくりを実践し、病気の早期発見・予防に努められるよう、各種健診及び健康教室等を実施しました。また、「中央リサイクルセンター」の建設により資源ごみのリサイクル率向上を推進、3,493万2千円(1.9%)の増となりました。

農林水産業費...ほ場整備事業・漁礁設置など生産基盤の整備、効率的飼料の生産支援や有害鳥獣防護柵の設置等に取り組みました。バイオマス利用用フロンティア整備事業の事業費減などにより、2億1,902万1千円(9.5%)の減となりました。

商工費...地域商工業の活性化及び生活対策を目的に、「市民の暮らし応援振興券」を発売しました。また、鳴門みさき荘及び大鳴門橋記念館、サンライズ淡路、淡路ふれあい公園等の観光施設の整備・改修を行いました。その結果、商工費では3,935万1千円(6.5%)の増となりました。

土木費...市内各地の道路や河川・港湾の環境整備や市営住宅の耐震診断を行い、安全で質の高い生活空間の創造に取り組みました。その結果、前年度と比べ2億3,028万4千円(13.3%)の増となりました。

消防費...災害発生に備え、消防施設の充実や防災資機材・備蓄食糧等を整備しました。また、市内各地区消防団や自主防災組織の育成指導・訓練等、防災対策に積極的に取り組みました。昨年度に沼島地区でヘリポート整備が完了したこともあり、1億437万5千円(10.8%)の減となりました。

教育費...4つの小中学校体育館(倭文・北阿万・灘小学校、沼島中学校)で地震補強工事を、南淡中学校体育館で大規模改造工事を行うことにより、施設利用者の安全性・教育環境の向上を図りました。これにより、市内の小中学校耐震化100%を達成しました。また、各種公民館講座の開催やスポーツ大会への助成を通じて、生涯学習の場を提供しました。その結果、教育費では9,340万7千円(4.0%)の増となりました。

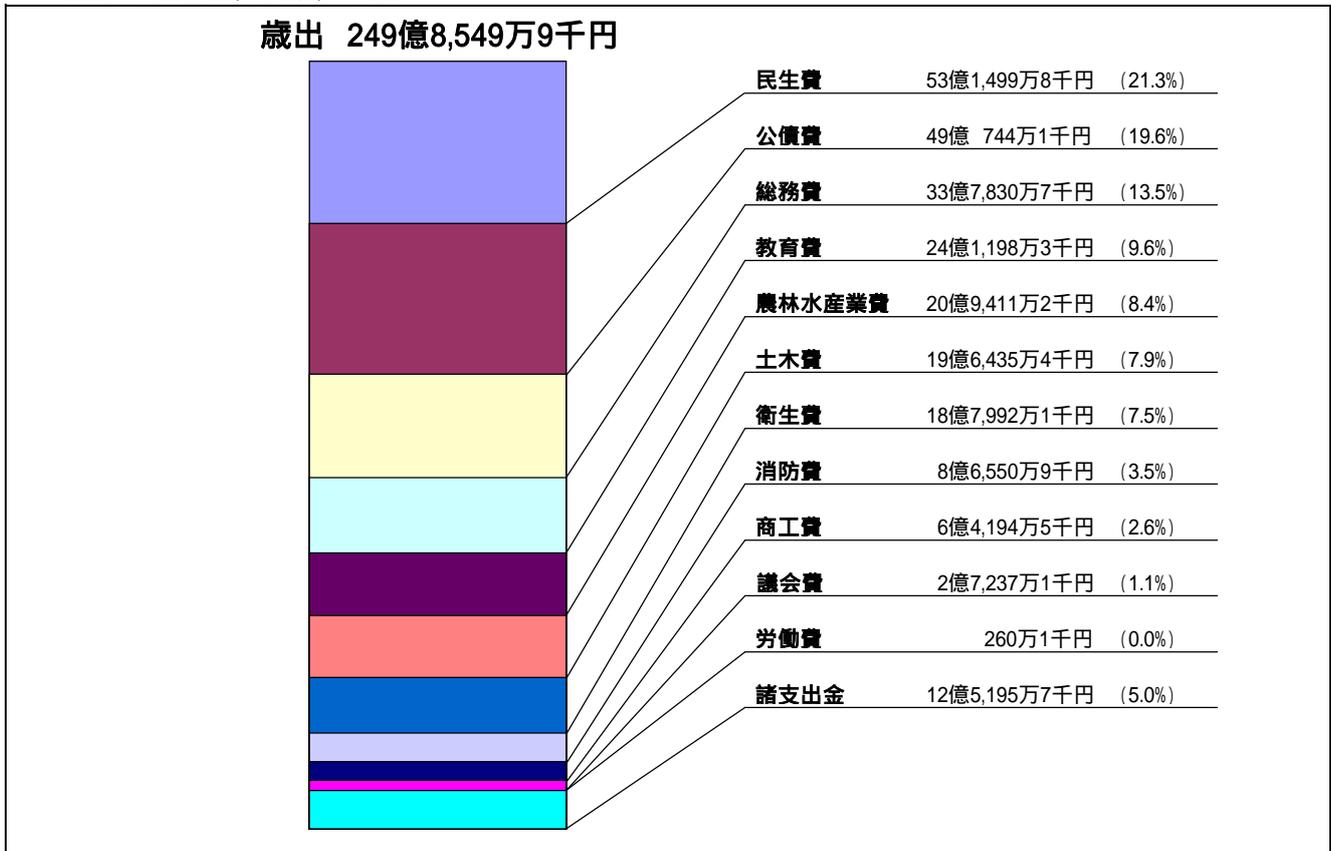
公債費...過去に実施した各種事業のために借り入れた資金に対する、今年度分の元金及び利子の返済を行いました。また、将来世代の負担軽減のため3億9,726万5千円の繰上償還を行ったこともあり、1億6,113万4千円(3.4%)の増となりました。

一般会計 歳出(目的別)の状況及び前年度比較

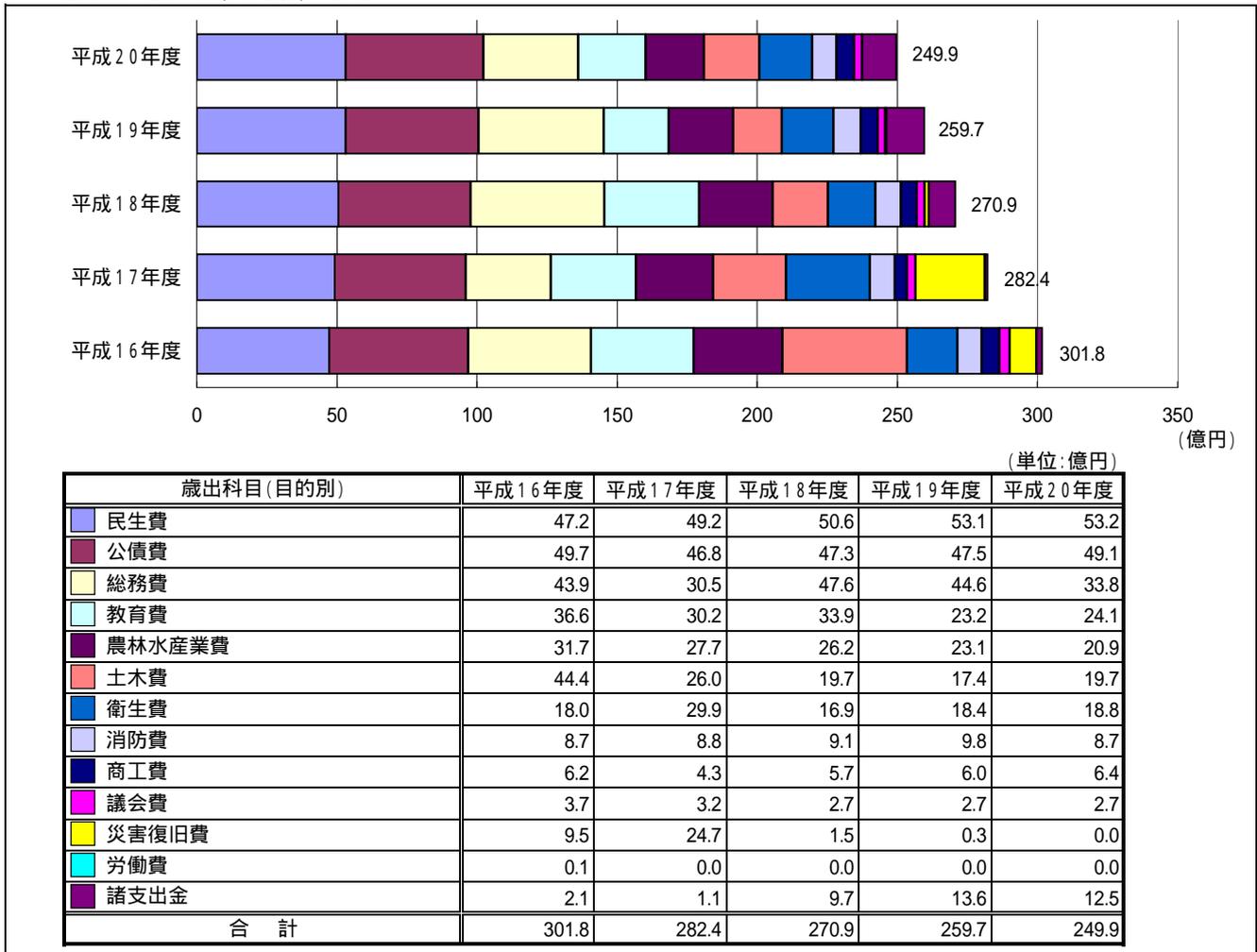
(単位:千円、%)

歳出科目(目的別)	平成20年度				平成19年度		前年度対比	
	最終予算額	決算額	構成比	予算執行率	決算額	構成比	増減額	増減率
1. 議会費	274,433	272,371	1.1	99.2	271,862	1.1	509	0.2
2. 総務費	3,486,157	3,378,307	13.5	96.9	4,461,546	17.2	1,083,239	24.3
3. 民生費	5,410,154	5,314,998	21.3	98.2	5,313,590	20.5	1,408	0.0
4. 衛生費	2,057,593	1,879,921	7.5	91.4	1,844,989	7.1	34,932	1.9
5. 労働費	3,102	2,601	0.0	83.8	3,563	0.0	962	27.0
6. 農林水産業費	2,235,873	2,094,112	8.4	93.7	2,313,133	8.9	219,021	9.5
7. 商工費	1,067,997	641,945	2.6	60.1	602,594	2.3	39,351	6.5
8. 土木費	2,333,863	1,964,354	7.9	84.2	1,734,070	6.7	230,284	13.3
9. 消防費	869,345	865,509	3.5	99.6	969,884	3.7	104,375	10.8
10. 教育費	2,460,295	2,411,983	9.6	98.0	2,318,576	8.9	93,407	4.0
11. 災害復旧費	2	0	0.0	0.0	32,347	0.1	32,347	皆減
12. 公債費	4,912,919	4,907,441	19.6	99.9	4,746,307	18.3	161,134	3.4
13. 諸支出金	1,252,188	1,251,957	5.0	100.0	1,354,417	5.2	102,460	7.6
14. 予備費	22,690	0	0.0	0.0	0	0.0	0	-
合計	26,386,611	24,985,499	100.0	94.7	25,966,878	100.0	981,379	3.8

一般会計 歳出額(目的別)の構成



一般会計 歳出額(目的別)の推移



一般会計 歳出(性質別)の状況及び前年度比較

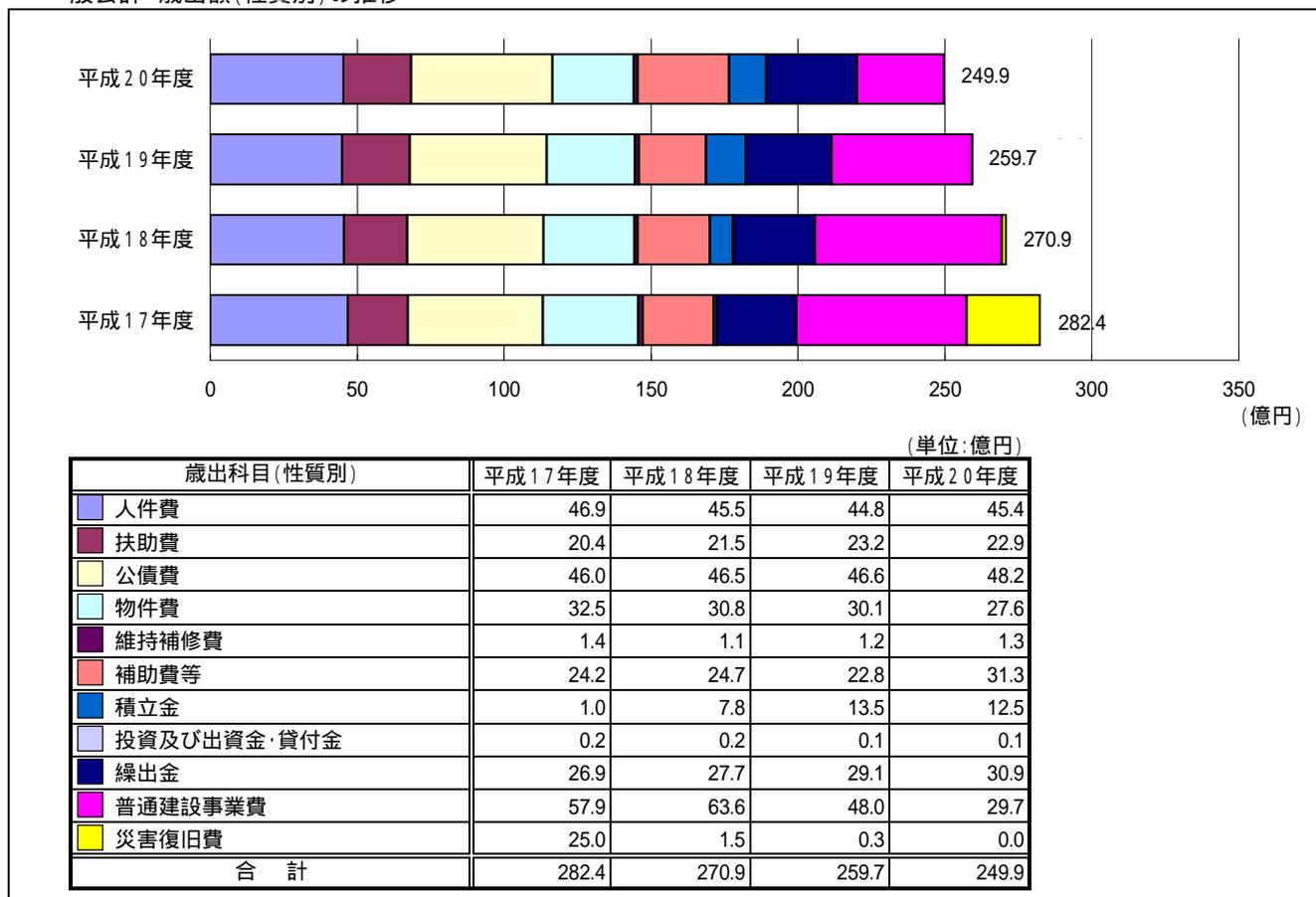
(単位:千円、%)

歳出科目(性質別)	平成20年度		平成19年度		前年度対比	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
1.人件費	4,537,081	18.2	4,478,462	17.3	58,619	1.3
2.扶助費	2,287,865	9.1	2,316,165	8.9	28,300	1.2
3.公債費	4,821,223	19.3	4,659,950	17.9	161,273	3.5
4.物件費	2,761,777	11.0	3,006,072	11.6	244,295	8.1
5.維持補修費	124,970	0.5	123,694	0.5	1,276	1.0
6.補助費等	3,124,170	12.5	2,282,585	8.8	841,585	36.9
7.積立金	1,250,355	5.0	1,347,086	5.2	96,731	7.2
8.投資及び出資金・貸付金	13,297	0.1	4,038	0.0	9,259	229.3
9.繰出金	3,091,887	12.4	2,913,127	11.2	178,760	6.1
10.投資的経費	2,972,874	11.9	4,835,699	18.6	1,862,825	38.5
普通建設事業費	2,972,874	11.9	4,803,504	18.5	1,830,630	38.1
災害復旧費	0	0.0	32,195	0.1	32,195	皆減
合計	24,985,499	100.0	25,966,878	100.0	981,379	3.8

【用語解説】

人件費…職員等に対する給与、職員手当等として支払われる経費で、議員、委員への報酬を含む。
 扶助費…地方公共団体が各種法令(生活保護法、児童福祉法、老人福祉法等)に基づき被扶養者に支給する経費及び単独で行う各種扶助の経費。
 公債費…地方公共団体が借り入れた地方債の元利償還金及び一時借入金利息の合算額。
 物件費…旅費、交際費、需用費、役務費、備品購入費、報償費、委託料、使用料及び賃借料、原材料費等の消費的経費で、投資的経費や維持補修費に計上されるものは除かれる。
 維持補修費…地方公共団体が管理する公共施設等保全し維持するための経費。
 補助費等…各種団体への補助金、協議会等への負担金、補償金、賠償金、償還金、寄附金等の経費。
 積立金…財政調整基金などの基金に対して積み立てる経費。
 投資及び出資金・貸付金…出資金、出損金。また、地方公共団体が直接あるいは間接的に現金の貸付を行う経費。
 繰出金…特別会計への繰出し及び定額運用基金(土地開発基金)へ繰出しする経費。
 投資的経費…支出の効果が社会資本形成に向けられ、施設等がストックとして将来に残るものに支出される経費。
 普通建設事業費…投資的経費のうち、道路、橋りょう、学校、庁舎等公共用又は公用施設の新増設等の建設事業に要する経費。
 災害復旧費…投資的経費のうち、降雨、暴風、洪水、地震、高潮等の災害によって被害を受けた施設等を復旧するための経費。

一般会計 歳出額(性質別)の推移



南あわじ市の家計簿

市の財政状況をみなさんの家の家計に置き換えてみるとどうなるのでしょうか。

月収が30万円の世帯にたとえてみました。

これが多いと、一般家庭のエンゲル係数が高いことと同じで、家計にあまり余裕がないことを意味します。南あわじ市の義務的経費の割合は、46.6%です。

収入		支出	
()内は、18年度と比較した増減額			
前月からの繰越金	7,700円	食費	7万5,400円
(繰越金)	(- 8,000円)	(人件費)	(+ 1,000円)
給与	30万円	医療費	3万8,000円
	(+ 1万6,600円)	(扶助費)	(- 500円)
うち基本給	24万8,100円	ローンの返済	8万100円
(市税などの経常一般財源)	(+ 9,600円)	(公債費)	(+ 2,700円)
諸手当	5万1,900円	光熱水費や通信費など	4万5,900円
(特別地方交付税、使用料など)	(+ 7,000円)	(物件費)	(- 4,100円)
親からの援助	6万6,000円	家・車・電化製品の修理や買い替え	5万1,500円
(国・県支出金)	(+ 1万6,300円)	(維持補修費、普通建設事業費)	(- 3万900円)
銀行からの借入	3万9,900円	交際費・子どもへの仕送り	10万3,500円
(市債)	(- 3万2,500円)	(補助費等、貸付金、繰出金)	(+ 1万7,100円)
貯金の取り崩し	1万3,900円	貯金	2万800円
(基金繰入金)	(- 3,900円)	(積立金)	(- 1,600円)
計	42万7,500円	計	41万5,200円
	(- 1万1,500円)		(- 1万6,300円)
		来月への繰越金	1万2,300円
		(歳入歳出差引額)	(+ 4,800円)

義務的経費

市の一般会計決算額を月収が30万円の世帯に例えてみると、食費や家族の医療費、光熱水費や日用品代、自宅の修繕費用、子どもへの仕送り、ローンの返済など約41万5千円の毎月の出費(市民へのサービス提供にかかる費用)があり、月収(市税など、ほぼ毎年決まって入ってくる収入)の30万円では足りない分を、実家・親からの援助(国・県支出金など)や新たなローン(市債)、貯金の取崩しなど、他の収入によってまかなっていることがわかります。

前月(前年度)からの比較で見ると、支出ではローンの返済や子どもへの仕送りなどにかかる出費が増えましたが、光熱水費を節約し、家の修理や電化製品の買い換えを抑えました。一方、収入では給与が前月(前年度)と比べ増え、その分は銀行からの借入れを抑え、貯金の取り崩しを少なくするなど家計の健全化に努めました。

(4) 市債現在高の状況

一般会計における平成20年度末の市債現在高(ローンの未償還金残高)は、ケーブルテレビ整備事業や中央リサイクルセンター建設の完了に伴い、借入れが減少したことや、3億9,726万5千円の繰上償還を行ったことなどにより、前年度末と比べ16億7,425万5千円(3.7%)減の441億120万3千円となりました。

特別会計においては、公共下水道事業、農業集落排水事業、漁業集落排水事業の3事業を合わせた下水道整備に伴う市債の現在高が、前年度末と比べ3億6,180万4千円(1.3%)増の285億3,544万円となり、市債全体から見ても大きな割合を占めていることがわかります。

また、企業会計では水道事業会計において、下水道整備に関連する水道管の布設替えや新設工事に伴う借入れはあったものの、これまでに借り入れた利率の高い借入金について繰上償還を行ったことなどから、前年度末と比べ1億9,322万5千円(2.8%)減の68億737万3千円となりました。

一般会計と特別会計及び企業会計を合計した市債全体で見ると、前年度末と比べ18億2,651万2千円(2.2%)減の803億4,130万1千円となりました。今後も後世代への負担軽減を図るため、市の「財政健全化計画」に基づき新たな借入れを最小限に抑制し、繰上償還を計画的に実施することで市債残高の減少に努めます。

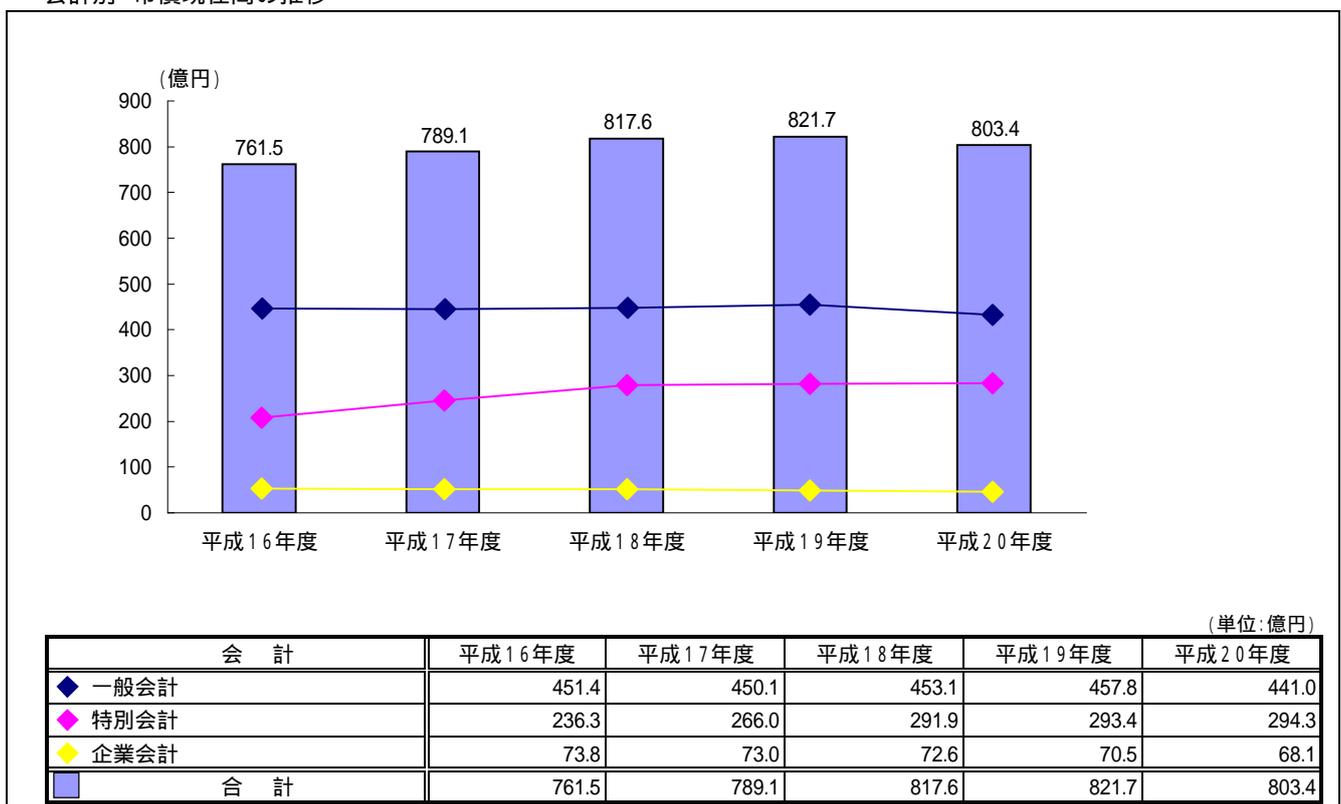
会計別 市債現在高の状況

(単位:千円)

会計名	平成20年度末 現在高	平成20年度中増減		平成19年度末 現在高	市民1人当たり 平成20年度末 現在高(円)	
		借入額	償還額			
一般会計	44,101,203	2,401,500	4,075,755	45,775,458	841,465	
特別会計	国民健康保険 直営診療所助定	8,055		701	8,756	154
	公共下水道事業	21,020,086	695,600	271,319	20,595,805	401,070
	農業集落排水事業	5,606,811	33,800	164,027	5,737,038	106,980
	漁業集落排水事業	1,908,543	121,000	53,250	1,840,793	36,416
	土地開発事業 企業団地開発事業助定	563,000		197,000	760,000	10,742
	土地開発事業 住宅団地開発事業助定	101,000		35,152	136,152	1,927
	産業廃棄物最終処分事業	225,230		39,060	264,290	4,297
計	29,432,725	850,400	760,509	29,342,834	561,586	
企業会計	水道事業	6,807,373	668,600	861,825	7,000,598	129,887
	国民宿舎事業			48,923	48,923	
	計	6,807,373	668,600	910,748	7,049,521	129,887
合計(+ +)	80,341,301	3,920,500	5,747,012	82,167,813	1,532,938	

市民1人当り現在高は、平成20年度末住民基本台帳人口52,410人で算出しました。

会計別 市債現在高の推移



(単位:億円)

会計	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
◆ 一般会計	451.4	450.1	453.1	457.8	441.0
◆ 特別会計	236.3	266.0	291.9	293.4	294.3
◆ 企業会計	73.8	73.0	72.6	70.5	68.1
■ 合計	761.5	789.1	817.6	821.7	803.4

(5) 基金残高の状況

国の三位一体の改革による国庫支出金の減収や人口減による市税の減収などにより歳入総額も減収となり、収入の不足を補うため基金の取り崩しを行い財政運営を行っている状況です。今後も厳しい財政状況となることが予想されるため、歳出を抑えたり、歳入を確保することで取り崩しを抑制し、基金が底をついてしまわないように努めなければなりません。

平成20年度末の一般会計における基金残高は、年度中の取り崩し額を積み立て額が上回ったため、前年度と比べ4億1,535万5千円(9.7%)増の47億1,137万円となりました。

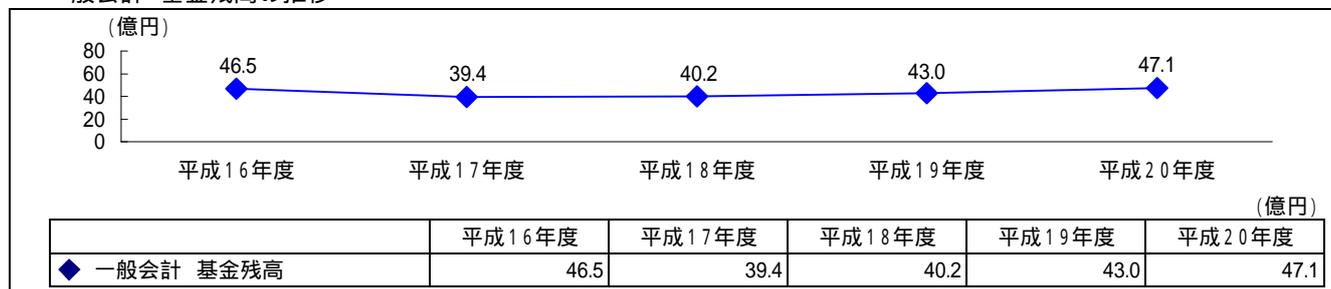
基金残高の状況

(単位:千円)

基金名	平成20年度末 残高	平成20年度中増減		平成19年度末 残高	市民1人当たり 平成20年度末 残高(円)
		積立額	取崩額		
財政調整基金	814,000	180,400	403,400	1,037,000	15,531
減債基金	272,700	13,500	143,000	402,200	5,203
その他特定目的基金	3,624,670	1,056,455	288,600	2,856,815	69,160
公共施設等整備基金	58,428	428	12,000	70,000	1,115
地域福祉基金	191,937		90,000	281,937	3,662
ふるさとまちづくり基金	132,160	54,160	30,000	108,000	2,522
滝川文化振興基金	90,423	4,317		86,106	1,725
ふるさと・水と土保全対策基金	1,027			1,027	20
慶野松原松林保全基金	4,306	737		3,569	82
淡路人形会館建設基金	159,239	63,596	2,000	97,643	3,038
淡路人形浄瑠璃館基金	206,196	3,985		202,211	3,934
淡路鳴門岬公園開発基金	425,164	6,010	71,700	490,854	8,112
下水道基金	140,938	1,638	70,000	209,300	2,689
健康福祉協会基金	41,096	328	12,900	53,668	784
地域振興基金	1,800,000	800,000		1,000,000	34,345
地域開発基金	253,756	1,256		252,500	4,842
水道事業調整基金	120,000	120,000			2,290
計	4,711,370	1,250,355	835,000	4,296,015	89,894
定額運用基金					
土地開発基金	700,000	1,004	1,004	700,000	13,356
現金	290,716	1,004		289,712	5,547
土地(価格)	409,284		1,004	410,288	7,809
特別会計基金(企業会計含む)					
国民健康保険財政調整基金	661	64	10,000	10,597	13
介護保険財政調整基金	53,650	12,894	48,854	89,610	1,024
介護従事者処遇改善臨時特例基金	28,345	28,345			541
産業廃棄物最終処分場基金	383,133	2,133	80,000	461,000	7,310
広田財産区財政調整基金	2,300	10	210	2,500	44
福良財産区財政調整基金	114,300	1,000	8,200	121,500	2,181
北阿万財産区財政調整基金	33,163	463		32,700	633
沼島財産区財政調整基金	2,033	10	444	2,467	39
水道事業積立金	1,075,881	500	82,995	1,158,376	20,528
国民宿舎事業積立金	214,546	20,000	42,150	236,696	4,094

市民1人当たり現在高は平成20年度末住民基本台帳人口52,410人で算出しました。

一般会計 基金残高の推移



2. 平成20年度 決算の概要(企業会計)

(1) 水道事業会計

歳入歳出決算総括表

(単位:千円、%)

区 分	歳入		歳出		歳入歳出差引額 (c) (a) - (b)	翌年度へ繰り 越すべき財源 (d)
	決算額 (a)	対前年度増減率	決算額 (b)	対前年度増減率		
収益の収支	2,003,242	1.6	1,970,886	0.9	32,356	0
資本の収支	796,039	30.6	1,435,177	16.3	* 639,138	334,408

不足額については、当年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額、過年度損益勘定留保資金、当年度損益勘定留保資金及び減債積立金で補てんしました。

損益計算書

(単位:千円、%)

項 目		平成20年度	平成19年度	増減	前年度対比
営 業 損 益	営業収益	1,580,413	1,625,741	45,328	2.8
	(1)給水収益	1,534,199	1,589,558	55,359	3.5
	(2)受託工事収益	41,743	31,504	10,239	32.5
	(3)その他営業収益	4,471	4,679	208	4.4
	営業費用	1,690,759	1,685,867	4,892	0.3
	(1)原水及び浄水費	911,320	921,129	9,809	1.1
	(2)配水及び給水費	71,711	81,976	10,265	12.5
	(3)受託工事費	40,034	25,327	14,707	58.1
	(4)業務費	74,159	70,888	3,271	4.6
	(5)総係費	45,751	41,798	3,953	9.5
(6)減価償却費	517,264	519,970	2,706	0.5	
(7)資産減耗費	30,134	24,287	5,847	24.1	
(8)その他営業費用	386	492	106	21.5	
営業損益		110,346	60,126	50,220	83.5
営 業 外 損 益	営業外収益	342,555	329,023	13,532	4.1
	(1)分担金	25,830	17,918	7,912	44.2
	(2)受取利息及び配当金	3,251	5,100	1,849	36.3
	(3)他会計補助金	278,931	264,177	14,754	5.6
	(4)他会計負担金	31,134	41,540	10,406	25.1
	(5)雑収益	3,409	288	3,121	1083.7
	営業外費用	207,521	257,913	50,392	19.5
	(1)支払利息及び企業債取扱諸費	189,362	245,974	56,612	23.0
(2)雑支出	0	734	734	皆減	
(3)繰延勘定償却費	18,159	11,205	6,954	62.1	
経常損益		24,688	10,984	13,704	124.8
特 別 損 益	特別利益	139	4	135	3375.0
	(1)固定資産売却益	0	0	0	-
	(2)過年度損益修正益	139	4	135	3375.0
	特別損失	29,764	1,617	28,147	1740.7
	(1)固定資産売却損	0	0	0	-
	(2)過年度損益修正損	1,411	1,617	206	12.7
(3)固定資産除却損	28,353	0	28,353	皆増	
当年度純損益		4,937	9,371	14,308	152.7
剰 余 金 計 算	前年度未処分利益剰余金	131,654	122,283		
	前年度利益剰余金処分	120,500	0		
	(1)減債積立金	500	0		
	(2)建設改良積立金	0	0		
	(3)利益積立金	0	0		
(4)一般会計繰出金	120,000	0			
当年度未処分利益剰余金		6,217	131,654		

貸借対照表

(単位:千円、%)

区 分		平成20年度	平成19年度	増減	前年度対比
資 産	1. 固定資産	15,054,342	15,096,669	42,327	99.7
	(1)有形固定資産	15,042,248	15,083,616	41,368	99.7
	(2)無形固定資産	11,966	12,925	959	92.6
	(3)投資	128	128	0	100.0
	2. 流動資産	1,572,084	1,649,385	77,301	95.3
	(1)現金及び預金	1,316,170	1,306,941	9,229	100.7
	(2)未収金	250,000	336,671	86,671	74.3
	(3)貯蔵品	5,914	5,773	141	102.4
	(4)その他流動資産	0	0	0	-
	3. 繰延勘定	64,946	67,697	2,751	95.9
(1)開発費	64,946	67,697	2,751	95.9	
資 産 合 計		16,691,372	16,813,751	122,379	99.3
負 債	1. 固定負債	0	0	0	-
	2. 流動負債	321,491	253,146	68,345	127.0
	(1)一時借入金	0	0	0	-
	(2)未払金	321,474	253,140	68,334	127
	(3)前受金	17	6	11	283.3
	(4)預り金	0	0	0	-
	(5)その他流動負債	0	0	0	-
負 債 計		321,491	253,146	68,345	127.0
資 本	1. 資本金	10,063,576	10,173,806	110,230	98.9
	(1)自己資本金	3,256,203	3,173,209	82,994	102.6
	(2)借入資本金	6,807,373	7,000,597	193,224	97.2
	2. 剰余金	6,306,305	6,386,799	80,494	98.7
	(1)資本剰余金	5,224,208	5,096,769	127,439	102.5
	(2)利益剰余金	1,082,097	1,290,030	207,933	83.9
資 本 計		16,369,881	16,560,605	190,724	98.8
負債・資本合計		16,691,372	16,813,751	122,379	99.3

業務量

事 項		平成20年度	平成19年度	増減	前年度対比
年度末給水人口		52,505 人	52,974 人	469 人	0.9
年度末給水戸数		18,453 戸	18,327 戸	126 戸	0.7
年度末給柱数		20,362 柱	20,302 柱	60 柱	0.3
普及率		99.8 %	99.8 %	0.0 %	-
配水量	年 間	6,391,760 m ³	6,543,200 m ³	151,440 m ³	2.3
	1ヶ月平均	525,360 m ³	536,340 m ³	10,980 m ³	2.0
	1日平均	17,512 m ³	17,878 m ³	366 m ³	2.0
有収水量	年 間	5,377,906 m ³	5,540,184 m ³	162,278 m ³	2.9
	1ヶ月平均	442,020 m ³	454,110 m ³	12,090 m ³	2.7
	1日平均	14,734 m ³	15,137 m ³	403 m ³	2.7
有収率		84.1 %	84.7 %	0.6 %	-

【参考指標:年ベース】

供給単価(水1m3あたりの販売単価がいくらを見る指標) = 給水収益 / 有収水量 285.28 円
 給水原価(水1m3を販売するのに、いくらの費用を要するかを見る指標) = (経常費用 - 受託工事費 - 材料売却原価) / 有収水量 345.46 円
 料金充足率(給水に要する費用が料金収入でどれだけ回収されているかを示す指標) = 供給単価 / 給水原価 × 100 82.58 %

積算資料

給水収益 … 1,534,199,165 円 受託工事費 … 40,034,441 円
 有収水量 … 5,377,906 m³ 材料売却原価 … 386,100 円
 経常費用 … 1,898,280,092 円

(2) 農業共済事業会計

歳入歳出決算総括表

(単位:千円、%)

区 分	歳入		歳出		歳入歳出差引額 (c) (a) - (b)	翌年度へ繰り 越すべき財源 (d)
	決算額 (a)	対前年度増減率	決算額 (b)	対前年度増減率		
収益の収支	529,673	2.9	524,973	4.0	4,700	0
資本の収支	0	-	0	-	-	0

損益計算書〔総合〕

(単位:千円、%)

項 目		平成20年度	平成19年度	増減	前年度対比
事業 損 益	事業収益	518,571	505,253	13,318	2.6
	(1) 共済掛金	131,916	144,869	12,953	8.9
	(2) 交付金	5,556	2,715	2,841	104.6
	(3) 保険金	146,862	135,454	11,408	8.4
	(4) 受取診療補填金	60,022	58,244	1,778	3.1
	(5) 技術給付金	37,512	40,337	2,825	7.0
	(6) 連合会特別交付金	4,704	317	4,387	1383.9
	(7) 責任準備金戻入	18,149	19,163	1,014	5.3
	(8) 法定積立金戻入	15	0	15	皆増
	(9) 特別積立金戻入	10,927	521	10,406	1997.3
	(10) 受取補助金	69,000	70,000	1,000	1.4
	(11) 受取奨励金	819	790	29	3.7
	(12) 賦課金	24,513	25,553	1,040	4.1
	(13) 受託収入	277	0	277	皆増
	(14) 受取損害防止事業負担金	8,207	6,977	1,230	17.6
	(15) 業務雑収入	92	313	221	70.6
	事業費用	508,290	491,692	16,598	3.4
	(1) 保険料	8,441	12,520	4,079	32.6
	(2) 技術料	88,708	90,220	1,512	1.7
	(3) 共済金	282,342	269,966	12,376	4.6
	(4) 無事戻金	15,616	838	14,778	1763.5
	(5) 責任準備金繰入	15,856	18,149	2,293	12.6
	(6) 支払賦課金	6,112	6,511	399	6.1
	(7) 一般管理費	74,838	80,958	6,120	7.6
	(8) 普及促進費	1,340	1,346	6	0.4
(9) 損害評価費	2,668	2,328	340	14.6	
(10) 損害防止費	10,621	8,595	2,026	23.6	
(11) 負担金	1,726	261	1,465	561.3	
(12) 業務雑費	22	0	22	皆増	
事業損益		10,281	13,561	3,280	24.2
事業外 損 益	事業外収益	11,101	9,434	1,667	17.7
	(1) 受取寄付金	10,350	9,000	1,350	15.0
	(2) 受取利息	751	434	317	73.0
	事業外費用	16,682	13,067	3,615	27.7
(1) 業務引当金繰入	16,682	13,067	3,615	27.7	
経常損益		4,700	9,928	5,228	52.7
当年度純損益		4,700	9,928	5,228	52.7
剰 余 金 計 算	繰越不足金	0	1,881		
	当年度利益剰余金処分類	9,025	8,047		
	(1) 法定積立金	125	130		
	(2) 特別積立金	8,900	7,917		
年度未処分利益剰余金(当年度未処理不足金)		4,325	0		

貸借対照表

(単位:千円、%)

項 目		平成20年度	平成19年度	増減	前年度対比
資 産	1. 流動資産	399,122	393,647	5,475	1.4
	(1) 現金及び預金	243,282	232,579	10,703	4.6
	(2) 一時貸付金	112,347	118,347	6,000	5.1
	(3) 未収金	43,493	42,721	772	1.8
	2. 固定資産	1,601	1,601	0	0.0
	(1) 無形固定資産	259	259	0	0.0
	(2) 抛入金	1,342	1,342	0	0.0
資 産 合 計		400,723	395,248	5,475	1.4
負 債	1. 流動負債	189,622	194,587	4,965	2.6
	(1) 一時借入金	112,347	118,347	6,000	5.1
	(2) 未払金	61,419	58,091	3,328	5.7
	(3) 責任準備金	15,856	18,149	2,293	12.6
	2. 固定負債	131,314	114,632	16,682	14.6
	(1) 業務引当金	131,314	114,632	16,682	14.6
負 債 計		320,936	309,219	11,717	3.8
資 本	1. 資本	79,787	86,029	6,242	7.3
	(1) 剰余金	75,087	77,982	2,895	3.7
	(2) 当年度末処分剰余金	4,700	8,047	3,347	41.6
資 本 計		79,787	86,029	6,242	7.3
負債・資本合計		400,723	395,248	5,475	1.4

業務量

事 項	平成20年度	平成19年度	増減	前年度対比
水稲引受面積 (ha)	1,939	1,952	13	0.7
乳牛引受頭数 (頭)	11,354	12,059	705	5.8
肉牛引受頭数 (頭)	7,862	7,876	14	0.2
種豚引受頭数 (頭)	11	17	6	35.3
肉豚引受頭数 (頭)	2,145	4,282	2,137	49.9
園芸施設引受棟数 (棟)	139	140	1	0.7

(3) 国民宿舎事業会計

歳入歳出決算総括表

(単位:千円、%)

区 分	歳入		歳出		歳入歳出差引額 (c) (a) - (b)	翌年度へ繰り 越すべき財源 (d)
	決算額 (a)	対前年度増減率	決算額 (b)	対前年度増減率		
収益的収支	461,071	0.3	450,060	2.4	11,011	0
資本的収支	0	-	52,244	2.8	※ 52,244	0

不足額については、消費税資本的収支調整額、減債積立金、過年度損益勘定留保資金で補てんしました。

損益計算書

(単位:千円、%)

項 目		平成20年度	平成19年度	増減	前年度対比
営 業 損 益	営業収益	317,756	324,583	6,827	2.1
	(1)利用収益	289,429	295,852	6,423	2.2
	(2)売店収益	23,211	23,196	15	0.1
	(3)その他営業収益	5,116	5,535	419	7.6
	営業費用	311,490	303,439	8,051	2.7
	(1)宿舎経営費	287,183	279,877	7,306	2.6
	(2)減価償却費	22,231	22,772	541	2.4
	(3)資産減耗費	124	361	237	65.7
	(4)営業外費用	1,952	429	1,523	355.0
	営業損益	6,266	21,144	14,878	70.4
陸 の 港 損 益	陸の港収益	118,929	113,896	5,033	4.4
	(1)陸の港収益	118,929	113,896	5,033	4.4
	陸の港管理費用	115,067	110,266	4,801	4.4
	(1)陸の港管理費	115,067	110,266	4,801	4.4
陸の港損益	3,862	3,630	232	6.4	
営 業 外 損 益	営業外収益	2,512	2,066	446	21.6
	(1)受取利息及び配当金	1,288	951	337	35.4
	(2)雑収益	1,224	1,115	109	9.8
	営業外費用	1,787	4,164	2,377	57.1
	(1)支払利息及び企業債取扱諸費	1,787	4,164	2,377	57.1
経常損益	10,853	22,676	11,823	52.1	
当年度純損益	10,853	22,676	11,823	52.1	
剰 余 金 計 算	前年度未処分利益剰余金	44,823	44,147		
	前年度利益剰余金処分額	20,000	22,000		
	(1)減債積立金	0	15,000		
	(2)利益積立金	5,000	2,000		
	(3)建設改良積立金	15,000	5,000		
当年度未処分利益剰余金	35,676	44,823			

貸借対照表

(単位:千円、%)

区 分		平成20年度	平成19年度	増減	前年度対比
資 産	1. 固定資産	562,621	581,813	19,192	3.3
	(1)有形固定資産	562,491	581,683	19,192	3.3
	(2)無形固定資産	130	130	0	0.0
	2. 流動資産	311,578	328,818	17,240	5.2
	(1)現金及び預金	291,923	310,438	18,515	6.0
	(2)営業未収金	9,498	8,923	575	6.4
	(3)貯蔵品	10,157	9,457	700	7.4
資 産 合 計		874,199	910,631	36,432	4.0
負 債	1. 固定負債	6,926	7,210	284	3.9
	(1)引当金	6,926	7,210	284	3.9
	2. 流動負債	26,194	24,273	1,921	7.9
	(1)営業未払金	21,282	19,042	2,240	11.8
	(2)その他流動負債	4,912	5,231	319	6.1
	負 債 計	33,120	31,483	1,637	5.2
資 本	1. 資本金	590,856	597,629	6,773	1.1
	(1)自己資本金	590,856	548,706	42,150	7.7
	(2)借入資本金	0	48,923	48,923	皆減
	2. 剰余金	250,223	281,519	31,296	11.1
	(1)利益剰余金	250,223	281,519	31,296	11.1
資 本 計		841,079	879,148	38,069	4.3
負債・資本合計		874,199	910,631	36,432	4.0

業務量

(単位:人、%)

事 項	平成20年度	平成19年度	増減	前年度対比	平成20年度 1日平均
宿 泊	17,596	18,826	1,230	6.5	49.4
休 憩	21,791	21,062	729	3.5	61.2
合 計	39,387	39,888	501	1.3	110.6

平成21年9月
南あわじ市財務部財政課
〒656-0592
兵庫県南あわじ市福良甲512番地(南淡庁舎)
TEL 0799-50-3033
FAX 0799-50-3053
E-mail zaisei@city.minamiawaji.hyogo.jp